

はたらきかた 改革通信 2023

No.1

長野県教育委員会義務教育課 発行

2023.6.27

働きがいがあって、働きやすい職場を目指して!

令和5年度がスタートし、3ヶ月近くが経とうとしています。新しい職場に赴任された先生方にとっては、職場の雰囲気にも慣れ、忙しくも充実した日々を送っているところでしょうか。

本年度も、県教育委員会では、「働き方改革検討会議」や「活き活き×やりがい職場調査」などを通して、働き方改革をより一層推進させて参りたいと思います。本年度は特に、表題の「働きがい・やりがい=ワーク・エンゲイジメント」に着目し、県内で働く先生方の様々な取組を、この通信で紹介していければと思っています。ご自身の学校の働き方改革のヒントにつながれば幸いです。

その第一弾として、先日開かれた「第1回働き方改革検討会議」の様子をご報告します。



期 日 令和5年6月9日(金)オンライン

検討委員 荒井英治郎(信州大学准教授) 妹尾昌俊(一般社団法人ライフ&ワーク代表理事)
町支大祐(帝京大学大学院 教職研究科講師) 上部充敬(神奈川県横浜市立日枝小学校)
濱岡 功(栃木県那須町立那須中央中学校) 宮本隆宏(長崎県佐世保市立浅子小中学校)
北條 正(長野県公立小中学校事務研究会会長) 細田勇次(長野県公立小中学校事務研究会研究部長)

テーマ 第1回・第2回:学校事務職員による学校経営参画の推進
第3回・第4回:働きやすい職場環境の整備、学校関係者の多様な働き方の研究の推進

内 容 教育業務に関わる教育委員会・学校の連携・協働体制の構築

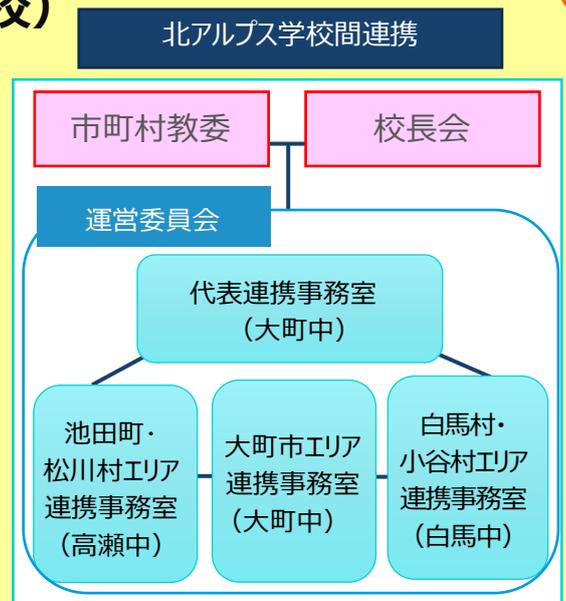
- ①北アルプス学校間連携より 「事務研究会組織との共同による5つの教育委員会との連携」
- ②飯田市共同学校事務室より 「山間僻地を含む広域な行政区の学校間連携」
- ③高森町共同学校事務室より 「OJTによる業務改善」
- ④富士見町共同学校事務室より 「作業の集約化による業務軽減」
- ⑤塩筑南部教育事務支援室より 「教育委員会との連携による支援室業務体制の強化と業務改善」



北アルプス学校間連携より（大町中学校）

＜主な取組＞

- ・教員に「お金」のことで心配をさせないために、大町市全校で給食費を「公会計化」へ移行。
- ・修学旅行等において、保護者と旅行業者の契約による積み立てへ。→旅行貯金完全廃止へ。
- ・共同学校事務室内の書類相互チェックや事務処理。
- ・学校業務サポーターが、地区内の学校を兼務し、各校で教員や事務職員の業務のサポートを行う。
（大町市）
- ・課題別研究グループを作り、5市町村で標準化・簡素化できそうな規程や帳票類の検討などを行う。
- ・教科書支給事務の市教委引き上げ（大町市）



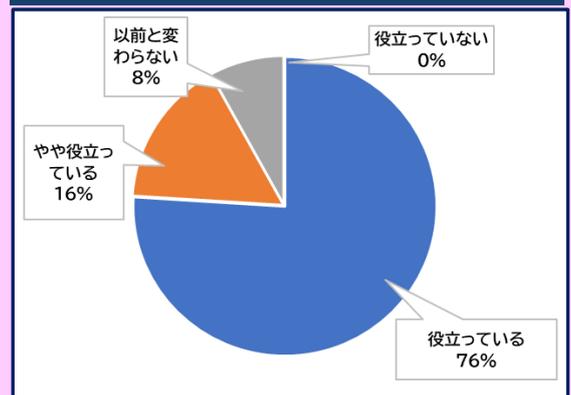
人と会って、つないで、
支えあいのシステムが出来上がった！

飯田市共同学校事務室より（飯田旭ヶ丘中学校）

＜主な取組＞

- ・飯田市内を3つのエリアに分け、拠点校を中心に連携を進める。
- ・これまで事務職員が一人で処理した書類を、別の複数の事務職員が目を通すことや、処理上の疑問点について組織内で検討。
- ・定期的にオンラインミーティングを開催し、職務上の疑問点を全体で共有し、解決に結びつける。
- ・毎月決められた会場に参集をして、給与の事務処理、旅費の事務処理などを行う。
例) 2月の定例参集で行ったこと
【監査】県監査対象校への支援
【財務】次年度の学校集金計画の検討
【就学援助】新入生認定・小中間の情報共有

事務室の皆さんを対象にしたアンケートより



問) 参集処理が事務の適正化や正確性の向上に役立っていますか？

自分がわからないことも全体で共有し、解決につながっていくので、とても心強い組織です。